



赤穂東中学校
学校だより

校訓
遵明奉協自
法朗仕同主

若木

第 11 号
2021年 3月
編集 校長 勝谷英策

学校教育目標

「高い志を持ち、学ぶ意欲と思いやりの心の充ちる生徒の育成」
～『志』高く、行動力と、やさしさのあふれる学校をめざして～

御卒業おめでとうございます

3月10日、3年生が卒業式を終えました。

まだ少し肌寒い空気のはりつめている体育館で、114名が赤穂東中学校から巣立っていきました。

静けさの中、担任から名前を呼ばれる。それに答える一人ひとりの凜とした立ち姿、「はい」という引き締まった返事が体育館に響く。3年間を後悔無く走り抜けたという自信と満足感が、彼ら、彼女たちの声と表情からあふれ出ていた。

それは、一人では決してたどり着くことができなかつた高みにたどり着いた者だけが知る喜びと、感謝の思いが現れていたように感じた。そして、歌さえ歌うことができない式の中で、許された、たった一言の自己表現。仲間に、先生に、そして一番伝えたい家族に。それを十分に理解し形にしてくれたと思います。



答辞の中で勝本羽菜さんは、本当なら卒業式で歌うはずだった「群青」の一節を歌い、「本当は、みんなで歌いたかった」と語った。

それは、3年生全員の思いだっただろう。

実は、卒業式前日、午後6時前に、10名近い学級の代表が校長室を尋ねてきた。「明日の卒業式の後、3年生全員で歌を歌いたいのので許可して欲しい」と申し出てきた。

「歌の練習もしてないし、そもそも他の生徒は知っているのか？」と聞くと、許可をもらってから伝えるという。

「誰かに聞かせるためじゃなくて、3年生全員で歌いたいです」「中庭で、密も避け、間隔を広く取って歌うから」と。

3年生全員で過ごすことができる最後のチャンスだった。止めさせる理由はいくつもあった。



「中庭での合唱の様子」

でも、できる理由を探したに違いない彼らを止めさせる理由はなかった。校長室に来るまでに、きっと策は考えてあると信頼してOKした。

1年前の今日、こんな卒業式になることを想像できたでしょうか。来年の春はどうなっているでしょうか。それは誰にもわかりません。

わかっていることは、必ず1年後はやってくるということ。だから、1年後、そしてその先の未来に向かって、自分が望む未来を描いて、仲間とともに歩き続けることを願っています。

令和2年度が終わります

今日は修業式です。本日で令和2年度の全課程が終了します。2年生、1年生のみなさんも、卒業した3年生と同じように、1年間、本当によく頑張ってきたと思います。自分で自分を褒めてください。

「自分なんて」とか「××はできないし」と、できないことが頭に浮かんで、素直に喜べない人もいます。

世の中に出ると“結果”を求められるようになります。だから“結果”で判断するくせがついてしまいます。でも、結果より大切なことがあります。

それは、自分の中に「**どうするつもりがあるのか（目的）**」ということと、「**そのために何をしたのか（行動）**」という2つがあることです。

この「目的」と「行動」の2つが、**自分自身の成長の源**になります。

それは、失敗したからあきらめる、うまくいくからまたやるという表面的なことではなく、自分の心の奥から湧き出る思いです。

「何のためにやるのか」

その思いが、誰かの幸せにつながること、誰かの役に立つことなら、きっと自分自身も幸せに生きることができるようになります。

明日から春休みです。わずか2週間あまりの休みですが、春はたくさんの新しい生命が芽吹く季節です。みなさん自身の中にも同じように新しい力の芽が生まれる季節です。



4月6日の始業式には、一回りも二回りも成

長した姿を見せてください。楽しみにしています。

保護者・地域のみなさまへ

保護者のみなさま、地域のみなさま、1年間、本校学校教育にご理解、ご協力いただき、本当にありがとうございました。そして何より、生徒達への言葉かけ、そして見えないところでのご支援があったからこそ、この1年を乗り越えることができたのだと深く感じています。

本当にありがとうございました。

令和2年度は終了しますが、またすぐに新しいが年度が始まり、1年生が入学してきます。



今後も皆様方のご協力がいただけるよう、教職員、一丸となって本校の教育活動に邁進してまいります。今後も、変わらぬご支援ご協力、ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。



4月の行事予定

- 6日（火）離任式・着任式・始業式
- 7日（水）入学式（13:30）
- 8日（木）対面式・オリエンテーション
- 23日（金）3年生進路学習・修学旅行説明会